

海老名産の花と生産者

園芸技術の研究や生産資材の共同購入のため、21戸の花弁農家で組織する海老名市園芸協会温室部会。「スイートピー」「カーネーション」「バラ」「鉢物」「一般切り花」の専門部があります。生産している方に栽培の特徴や花の魅力を聞きました。



「魅力は甘い香りとかわいらしさ」

スイートピー

スイートピー部 深澤伸治さん(上郷)

全国的には春咲きの品種が多いですが、神奈川県は冬咲きです。メロンの裏作でスイートピーを栽培していた名残ですね。冬咲きは花が小ぶりですがね。冬咲きは花が小ぶりですがね。冬咲きは花が小ぶりですがね。

ではネットに這わせて洗濯ばさみで止め、つるの成長に合わせて止め直します。スイートピーの「スイート」は甘い香りを意味します。淡い色が魅力で、歌にあるような赤色を栽培している農家は実は少ないんですよ。



スイートピーは種から栽培します。前年の花から採種した種を8月にまき、11月中旬に開花後は3月末まで収穫できます。スイートピーはマメ科なので、つるがぐんぐん伸びて3メートルにもなりますが、先端を切ると花が咲かなくなるから、つるは伸ばしたままにします。「スイートピー部」には3戸の花弁農家がありますが、私のハウス



「色の組み合わせを楽しんで」

カーネーション

カーネーション部 青木直士さん(門沢橋)

人気の品種は、黄色ベールに薄いピンクが入った「アクティバ」や、赤色ベールに黄色が入った「ジェリー」です。母の日以外は脇役と見られがちですが、さまざまな色の組み合わせでとても華やかになりますよ。



パステルからシックなものまで種類が豊富で、数百の品種があるといわれています。品種改良で新しい色や形が日々生み出されているので、「カーネーション部」の6戸の花弁農家は、それぞれがその時々ニーズに合わせた品種を栽培しています。私のハウスでは、約30品種を栽培していますが、毎年3分の1を入れ替えています。カーネーションといえばやはり「母の日」をイメージするのではないのでしょうか。もちろん5月は最盛期で大忙しです。前年の6月に苗を植えて、10月から5月末までが収穫期になります。



「日常でも楽しんでほしい」

バラ

バラ部 神部喜洋さん(門沢橋)

バラの花の周期は40〜50日。花の成長具合を見ながら選花して、週2回出荷しています。バラの旬は5月頃と10月頃ですが、出荷時期は生産者によって異なります。栽培方法も水耕栽培や土耕栽培など、「バラ部」の3戸の花弁農家でもいろいろです。私のハウスはロックウールを使用した水耕栽培。適切な栄養や温度管理、こまめな手入れを心掛けています。

バラも用意しています。一輪咲きの「スタンダードバラ」も良いですが、小輪がいくつも咲く「スプレーバラ」もお勧めですよ。バラに限らず、花を日常の生活に取り入れて楽しんでほしいですね。

直売もしているので、お客さまの要望に応えられるように約30品種のバラを栽培し、虹色や青色に染めた



「鮮やかな花と斑のある葉が魅力」

シクラメン

鉢物部 新戸勝也さん(中野)

と美しくまとめるためには、葉の並びを整える「葉組み」という工程もあります。私が一番心掛けていることは、お客さまのところでも少しでも長く元気に咲くよう、丁寧な手入れをすることですね。

鉢植えの花を栽培する「鉢物部」では、7戸の花弁農家がそれぞれコチョウランやポインセチア、パンジーなどを生産しています。私のところで栽培しているのは主にシクラメンで、他にエニシダやルピナスなども栽培しています。鮮やかな花と個性的な斑が入った葉がシクラメンの魅力で、お歳暮に贈られることも多いです。そのため、12月に入ってから約2週間で栽培した全てを出荷するんですよ。2月に苗を植えてから、その後3回の植え替えをします。この作業をすることで鉢を大きくしていくのです。葉をこもり

